第 72 号
2015 年3月1日発行

利島村 議会だより

◆発行　利島村議会　〒 100-0301　東京都利島村 248 番地　TEL 04992-9-0011　FAX 04992-9-0190

冬の利島港周辺

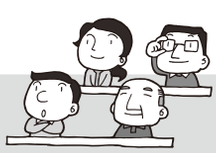
12月定例会

第３回臨時会　このようなことを審議しました ……2
平成 26 年度 補正予算

第４回定例会　このようなことを審議しました ……2
平成 26 年度 補正予算
【行政報告】農業委員会委員の選挙等について
地方税財源の拡充に関する意見書

村政のここを聞く　一般質問 ……5
学童保育及び健康・子どもセンターに関して ほか
　村山将人・寺田　優・井口　保

議会を傍聴しませんか？ 次の定例会は **3 月中旬**の予定です。



第３回臨時会
11月28日

平成 26 年第 3 回臨時会が 11 月 28 日に開催され、平成 26 年度一般会計補正予算、条例の一部改正が上程されました。慎重に審議した結果、すべて可決しました。

平成26年度　補正予算

専決処分

一般会計（第４号）

歳入・歳出それぞれ
167 万 4,000 円を増額　総額 12 億 2,137 万 4,000 円

一般会計（第５号）

歳入・歳出それぞれ
942 万 9,000 円を増額　総額 12 億 3,080 万 3,000 円

11 月臨時会 提出議案一覧

■専決処分
平成 26 年度補正予算
・一般会計（第４号）
可 決

■平成 26 年度補正予算
・一般会計（第５号）
可 決

■その他
・利島村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
可 決

議会出席者

◆ 行　政 ◆
前田　福夫（村長）
織田　　亨（副村長兼産業・環境課長事務取扱）
小幡　　仁（教育長）
石野　　誠（総務課長）
鈴木　広一（住民課長）
小蔦　広美（会計管理者）

◆ 議　会 ◆
前田　　薫（議長）
寺田　　優（副議長）
井口　　保
前田　隆夫
前田　隆司
村山　将人

◆ 議会事務局 ◆
荻野　　了（書記）
丹沢　優生（事務局代理）

第４回定例会
12月８日～10日

平成 26 年第 4 回定例会が 12 月 8 日～ 10 日に開催され、平成 26 年度各会計の補正予算、条例の一部改正と議員提出議案として「地方税財源の拡充に関する意見書」についてが上程されました。慎重に審議した結果、すべて可決しました。

平成26年度　補正予算

一般会計（第６号）

歳入・歳出それぞれ
782 万 1,000 円を増額　総額 12 億 3,862 万 4,000 円

簡易水道事業特別会計（第２号）

歳入・歳出それぞれ
126 万 6,000 円を増額　総額 4,063 万 4,000 円

国民健康保険事業特別会計（事業勘定）（第２号）

歳入・歳出それぞれ
39 万 1,000 円を増額　総額 9,186 万 2,000 円

合併処理浄化槽事業特別会計（第２号）

歳入・歳出それぞれ
345 万 2,000 円を増額　総額 5,587 万 9,000 円

国民健康保険事業特別会計（直診勘定）（第２号）

歳入・歳出それぞれ
86 万 7,000 円を減額　総額 8,552 万 9,000 円

介護保険事業特別会計（事業勘定）（第２号）

歳入・歳出それぞれ
529 万 4,000 円を増額　総額 4,643 万 4,000 円

行政報告

この報告書は、平成26年第3回定例会終了日（平成26年9月17日）の翌日から、平成26年第4回定例会開会予定日（平成26年12月8日）の1週間前までの行政の動きを概括的にまとめ、利島村議会に報告したものです。

石野総務課長

農業委員会委員の選挙について

平成26年7月に一斉改選が行われ、利島村では定数5人に対し立候補者が3人でした。都選管に問い合わせた結果、当選人の不足する数が5分の2を超える場合は再選挙を行うが、5分の2を超えない場合には選挙は有効となるため、無投票での当選が確定しました。

また、選挙による委員の欠員が生じた場合でも、選挙による委員の定数の5分の2を超えない場合には、補欠選挙は行わないとの規定により、補欠選挙は行いません。

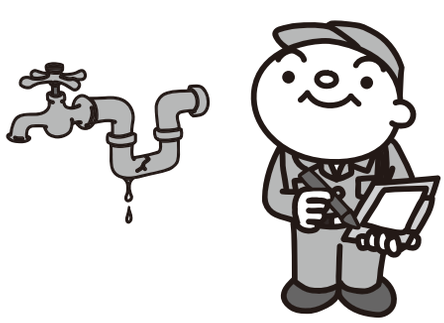
織田副村長兼産業・環境課長事務取扱

椿油生産者説明会について

平成26年11月16日に、農業委員会・役場・農協の共催で、椿油生産者説明会を開催しました。その中で、トビモンオオエダシャクなどの椿害虫への対策として、①さなぎの駆除、②成虫に対する誘蛾灯設置、③幼虫に対する薬剤散布、④広報による住民周知について説明しました。生産者からは、対策の内容について基本的な同意が得られたところですが、今後、具体的な実施方法等を含め、関係者と調整していきます。また、椿林の更新事業について、事業計画の作成や伐採方法・苗木管理の改善などの要望が出されたので、財源・人員に制約がある中においても、よりよい実施に向けて、必要な整理を図っていきます。

水道の漏水について

平成26年10月ごろから、簡易水道の監視制御設備の計測値により漏水の可能性が生じていました。局所的な調査を複数回実施しましたが、原因の特定には至らなかったところ、11月中旬には漏水率がおおむね30％となったことを受け、11月18日の深夜、村内一斉断水により抜本的な調査を実施しました。この結果、小中学校給食室付近の水道配管の継ぎ手が亀裂破損しており、この部分から漏水していることが確認できたので、11月18日～19日にかけて復旧作業を行いました。亀裂の原因は配管の老朽化であると考えられ、今後、必要な箇所について、老朽管の更新事業を実施していきます。



定期航路等運営業務について

平成26年11月28日に、村内団体等の代表者に対して、定期航路等運営業務に係る説明会を実施しました。従前より、東海汽船等の運航業務は代理店である役場から一括委託しているところですが、現在の受託者から、平成27年4月以降、業務継続は困難であるとの申し入れがありました。本業務の重要性に鑑み、今後の運営に向けて、村内団体等に協力を要請したところですが、引き続き、必要な調整を図っていきます。

東京愛らんどシャトル窓口業務時間の変更について

利島ヘリポートの窓口業務時間は、現在、9時～14時ですが、13時～14時には来客がない日が大半であることから、本年12月27日より、9時～13時までとします。

意見書

地方税財源の拡充に関する意見書

真の分権型社会を実現するためには、国と地方の役割分担を明確にし、地方がその責任と権限に応じた役割を果たせるよう、地方税財源の拡充を図る必要がある。

しかし、国は、平成 26 年度税制改正において、地方法人特別税・地方法人特別譲与税を廃止しないばかりか、地方の貴重な自主財源である法人住民税の国税化を新たに導入し、消費税率の 10 パーセントへの引上げ時には、法人住民税の国税化をさらに進めるとした。こうした措置は、地方税財源の拡充につながらず、地方の自立そのものを妨げ、地方分権の流れに逆行するものである。併せて、来年度からは法人実効税率の引下げが予定されており、地方税財政への影響が強く懸念されている。また、法人実効税率の引下げに関連し、地方自治体が自らの課税自主権に基づいて実施している地方税の超過課税について、一部からはその自主的な取り止めを求めるかのような意見も出てきている。

現在、利島村には、急激に押し寄せる少子高齢化への対応や、子育て環境の整備、高度成長期に全国に先駆けて建設された多くの公共施設の維持・更新、防災力の強化、治安対策など、膨大な財政需要が存在している。

地方自治体が、こうした多岐にわたる課題に適切に対応し、充実した住民サービスを提供していくためには、需要に見合う財源の確保が不可欠であり、地方財政が抱える巨額の財源不足という問題は、限られた地方税財源の中での財源調整では根本的な解決を図ることはできない。すなわち、近年の税制改正で導入された地方法人特別税及び地方法人特別譲与税、地方法人税のように、地方固有の税を地方間の財源調整に用いるような対応は、厳に慎むべきことである。

よって、利島村議会は、国会及び政府に対し、法人実効税率の引下げを行う場合には、国の責任において確実な代替財源を確保するなど、全ての地方自治体の歳入に影響を及ぼさないよう万全の対応を行うとともに、憲法で保障された地方の課税自主権に基づく超過課税の実施に関しては、あくまでも地方自治体の判断が尊重されるべきこと、また、地方税の根本原則をゆがめる地方法人特別税・地方法人特別譲与税と法人住民税の国税化を直ちに撤廃して地方税として復元し、地方が担う権限と責任に見合う地方税財源の拡充という本質的な問題に取り組むことを強く要請する。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

平成 26 年 12 月 10 日
利島村議会議長　前田　薫

12月定例会 提出議案一覧

■平成26年度　補正予算
- 一般会計（第6号）
- 国民健康保険事業特別会計（事業勘定）（第2号）
- 国民健康保険事業特別会計（直診勘定）（第2号）
- 簡易水道事業特別会計（第2号）
- 合併処理浄化槽事業特別会計（第2号）
- 介護保険事業特別会計（事業勘定）（第2号）
- 後期高齢者医療事業特別会計（第2号）

以上、可決

■条例の一部改正
- 児童福祉施設条例
- 村営住宅条例
- 国民健康保険条例

以上、可決

■議員提出議案
- 「地方税財源の拡充に関する意見書」について

可決

一般質問 ここが聞きたい！

村山 将人議員

学童保育及び健康・子どもセンターに関して

問 **9月議会でも同じ質問をしたが、4月から新入生の利用が予想される。運営方法等、具体的な事業計画はどのように進んでいるのか。**

また、健康・子どもセンターは建設が遅れているようだが、学童運営の計画もままならない中で、実際に建設してうまく運営できるのか。

答 副村長　4月からの新入生に対して後手にならないように対応していきます。具体的には来年4月から、利島村における放課後子ども総合プランの取り組みとして、現状の学童の継続とあわせて、新たに教育委員会で放課後子ども教室の実施を予定しているところです。

また、健康・子どもセンターは、設計の段階で、指名型プロポーザルの手続として、村長を委員長とする選定委員会を開催し、9月25日に設計事業者の特定をしたところです。今後、設計内容を詰めた上で、具体的な建設の予算計上については、27年度予算で、判断していきます。

問 **利用者に対して、具体的に学童保護者会を開催して、来年度へ向けて、村役場の方針を伝えようと思っているが、村役場から利用予定者に対しての説明等を考えているのであれば、教えてほしい。**

答 副村長　利用することが想定される学童保護者会等に対しても、必要な調整を事前にきちんと行っていきたいと思っています。現段階においての調整状況等については、保護者会に、必要な資料などは提供していきます。

答 教育長　最初は、今の学童保育と教育委員会の行う放課後子ども教室の合体型を考えていましたが、少し隔たりのある取り組みなので、教育委員会では子ども教室を開こうと考えています。対象は中学3年まで全て預かり、放課後児童生徒の面倒を見ていきます。形態的には、学校の先生たちの力を借りなければできないことなので、今の部活・クラブ・補習、そういうものを全て合体して行うつもりです。

意見 **この件については、ほかの議員も非常に関心のあることなので、行政報告の中でもう少し入れてもらいたかった。行政報告でカバーできる面が幾つかあると思うので、一般質問をしなくてもいいようなことであれば、報告してもらいたい。**

防災について

問 **10月3日に実施した防災訓練だが、訓練後の反省材料を村民に共有することも防災に繋がると思うが、次回開催に向けての収穫などあれば教えてほしい。また、村内のハザードマップの配布をお願いしていたが、いつ頃になるか。**

答 石野総務課長　役場の反省材料としては、各職員がどういう業務を自分が今後やっていくのか、まだ実際つかめていないということもありました。また消防団では、団員の行動にも不慣れな部分が見受けられました。住民の方に

…活力ある住みよい島を目指して…

は火を消すなどの避難行動をしてもらいました。なお、地震でブロック塀が崩れた場合などは業者と協定を結んでいますが、今後連携して実施していくべきと考えています。地震においての危険箇所は、訓練のときには設定していますが、もっとほかに危険箇所はないのか調べる必要があります。長野の地震では、住民の対応が早急に行われたことで、死者が出なかったこともあり、利島の場合も、住民の体制をつくっていかなければと考えています。何年か後に住民全員参加で避難訓練を実施していきたいと村長も言っていますので、それに向けて内容を詰めていきます。

問　島民の話を聞くと、賛否両論あったが、私個人的には職場で参加し、動きよりも意識としてよかったと感じた。ハザードマップは、津波だけに限らず、地震や大雨により変わるので必要だと考えている。大島のこともあるので、ぜひつくってもらいたい。

また、避難所の指定・設定についてどのように考えているのか。今のところ勤労福祉会館という認識でいいのか。

答　石野総務課長　勤労福祉会館・交流会館・在宅サービスセンター・学校が避難場所になっています。集落にまとまっていますので、そこが本当に大丈夫かと言われると、その辺のところも上から土砂が滑ってくれれば、全部ほぼ同じ場所にあるので分散したほうがいいのかとなりますが、場所をつくるにしても、電気などを通す必要が出てきます。危険箇所については、東京都が調査をする予定です。

また、ハザードマップは、今後製作して各戸に配布したいと思います。

定住化促進について

問　11月に「アイランダー2014」という全国の島々が集まるイベントに参加してきた。多くの島の方と交流する中で、共通する問題や解決策等を共有することができた。

アイランダーでは、利島村の求人紹介も行っていたが、他のどの島よりもPRができていたのではないかと感じた。これらのイベント等への参加や利島村のPRについて、もっと力を注ぐべきだと思うが、村長はどう考えているのか。

答　村長　私も今回初めてアイランダーに参加しましたが、結論としては、利島のPRをはじめ、人材発掘等にも非常に有効な催し物だと実感しました。今元気と思われる島は、非常に盛んにやっていて、それをそのまま反映しているようなイメージがわかりました。6月に伺った粟島村の村長さんも来ていて、非常に活発にやっていると感じました。我々としては、これはいろいろな視野や方面から考えて、このような催し物については、積極的に参加していくべきではないかと考えています。

意見　私が見る限り、ほかの島よりも利島はまだまだ立地的にも有利で、PRのしがいがあると思った。島に住んでみたいという方ともたくさん話をしたので、もっと力を入れて、村長や他の議員にも参加してもらいたい。このイベントは来年以降も続くようなので、強力にバックアップしてもらいたい。

寺田　優議員

少子化対策について

問　今年6月、村長は議員とともに新潟の粟島を訪問し、施設入所による留学制度を視察してきた。これらも含め、現時点で少子化対策の方向を示すことはできるのか。

定例会のたびに質問している欠学年問題だが、我が村には、里親留学などの子どもを受け入れる制度がない。実際に希望する子どもがいつ来てもいいように、里親家庭への助成制度など、早急に受け入れに必要な要綱の整備をすべきである。

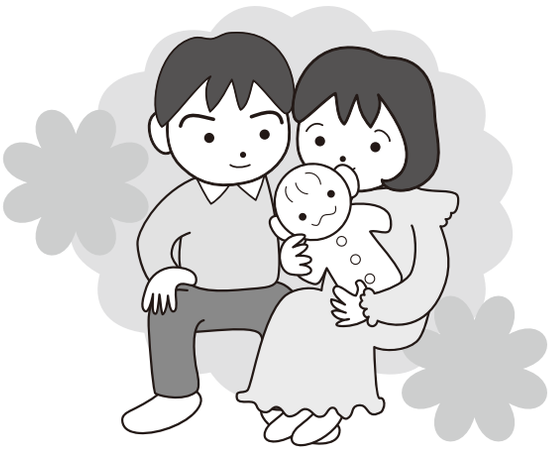
答　村長　定住化については中期的な政策と短期的な政策の2つに大きく分けられると思います。

一般質問 ここが聞きたい！

まず、中期的な政策としては、第1に子どもの生活環境、第2に高齢化福祉施策の推進・向上、第3には再エネ等、インフラの整備です。これらの関係は一見無関係に見えますが、この3つの施策は、誰もが安心して家族と生活または子育てができる住みやすい生活環境をつくることにあると、考えています。

短期的には、教育委員会が行っている生徒等に対しての様々な補助です。また、学校の施設にしても歴代の村長はじめ、様々な方の努力によって、利島の学校教育レベルは相当高く、村の人口レベルから比較したら、非常にいい環境にあります。それはどうしても守らなければならないと考えています。

また、この限界集落に近い組織の中で最適な人口は何人なのかということの考え方を、少し整理し勉強したいと思っています。



問 何度か留学制度を行っている地域を視察してきた中で、入所施設の必要性なども感じながらも、止まっている現状がある。そういった施設をつくることよりも、中期的・短期的制度を、もっと充実していくほうが大切であるということで捉えてしまうがどうか。

答 村長 里親や留学等については、組織的に大々的にやるよりは個別に対応して、当面はその状況に応じて、制度が必要であれば、その時点で考えさせていただきたい。

健康・子どもセンターについて

問 未だに全体像がつかめない。事業計画も含め説明を求める。

答 副村長 施設に何が入るのかは、今年度の前半に委員会からの答申の中で学童保育の場所・子ども家庭支援センター・市町村保健センター・地域包括支援センターなど多目的な複合施設を目指すという整理になっています。

設計は指名型のプロポーザル方式で、提案を求めた上で、選定委員会の中で設計業者を特定しており、現状は施設の設計作業中です。現時点の予定では、平成27年度予算の中に建設費を計上した場合、発注施工は27年度になる想定で、完成時期は、平成27年度後半の目途になっています。施設については、現状の学童の実施場所として想定しています。放課後子ども教室は、教育委員会所管として、場所は学校で行うことで進めています。

光ファイバーと村内利用について

問 都によれば東京諸島への光ファイバー敷設が本格的に前進するということだが、村には説明があったのか。

答 石野総務課長 現在、利島を含め、青ケ島まで引くという計画にはなっていますが、いつ引くかは東京都単独ではやらないため、国の予算がついてからになります。

工事期間としては、光ファイバーの線を製作する必要があり、調達で大体半年ぐらいかかると聞いています。

また、工事については来年度以降にと聞いていますが、決定はしていません。

職員募集に対する応募状況について

問 職員募集に対する応募状況について伺う。

答 石野総務課長 30件ほど応募があり、現在、選考をしています。選考後、面接等の通知を行う予定でいます。

一般質問

井口　保議員

健康・子どもセンター（仮称）について

問 **村長は、センター工事は2年間かけてやっていきたいとのことだったが、その後どうなったのか。**

答 副村長　今回から指名型プロポーザル方式で、業者の提案の中から最優秀者を選定して、その最優秀者と実際に契約を締結して設計を行っています。今後は、設計が終わった後、建設着工に入るわけですが、現時点では平成27年度予算の中にこの建設予算を計上する予定となっており、27年度に着工し、完成は27年度の後半であろうという見込みです。

問 **工期が28年度までかかるようなことになれば、ほかの事業へも影響が出てくるが、それについてどう考えているか。**

答 副村長　工期遅れについては、適切な進行管理を行っていきたい。

利島村来客者の送迎について

問 **今までは村から各議員に来島者の送迎予定表などは早めに送付してくれていたが、なぜ今年度は予定表を送付してもらえなかったのか。**

答 石野総務課長　これについては、こちらも不慣れな点があり、まことに申しわけございませんでした。今後はこのようなことがないように、早めに予定等について周知していきたいと考えています。

防災無線の個別受信機について

問 **村ではデジタル化を予定しているため新しい個別受信機を購入していないようだが、故障している家庭では不便が生じている。今後の対策をどうしていくのか。**

答 石野総務課長　今使っている個別受信機については、10台ほど集まったときに修理に出してはいますが、機種も古いので壊れやすいのは確かです。デジタル化について予定はしていて、今使っているものはアナログなので、使えなくなります。

一般質問項目一覧

村山　将人議員
- ▼学童保育及び健康・子どもセンターについて
- ▼防災に関して
- ▼定住化促進に関して

寺田　優議員
- ▼少子化対策について
- ▼健康・子どもセンターについて
- ▼光ファイバーと村内利用について
- ▼職員募集に対する応募状況について

井口　保議員
- ▼健康・子どもセンター（仮称）について
- ▼利島村来客者の送迎について
- ▼防災無線の個別受信機について

議会出席者

◆　行　政　◆

前田　福夫（村長）
織田　　亨（副村長兼産業・環境課長事務取扱）
小幡　　仁（教育長）
石野　　誠（総務課長）
鈴木　広一（住民課長）
小蔦　広美（会計管理者）

◆　議　会　◆

前田　　薫（議長）
寺田　　優（副議長）
井口　　保
前田　隆夫
前田　隆司
村山　将人

◆　議会事務局　◆

荻野　　了（書記）